

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2019

6

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	9
■例月句会結果■	
おかげょうき川柳社 4月例句会	19
十和田たてがみ川柳会 3月句会報	30
川柳吟行会「ぼ」 小野 五郎	28
■作品鑑賞■	
—奈良一艘がとことん深読む— 「深艘心理」 奈良一艘	8
■連載エッセイ■	
リレーエッセイ「途中下車」 土田 雅子	26
Infomation	33～
誌上句会「0番線」作品募集	36
「川柳ステーション2019」開催要項	裏表紙

カンテラ

おかしょうき川柳社代表

むさし

みなさん、令和最初の川柳ステーションがまもなくやってくる。

今年もトーナメントによるバトル「川柳コロシウム」をやりませう。

事前投句（「自由詠」今月末が締め切り）がありますので、よろしくお願ひします。

誰のどんな句が頂点に立つのでしょうか。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

けの明星」は、明け方、東の空に見える金星のこと。てことは、ふぶきさんは明け方に眠るんだ…。「ラジオから」
「見えてくる」って、いいね。

B群

ふるさとに腰を下ろしたつけまつ毛 まみどり
靴下を被せたような謝罪だね 向山タエ子
カオス理論そのあと誤嚥はしまった 鳴海賢治
古稀なのでそんじょそこらに言い負ける 熊谷冬鼓
全てオフにして濃密な無言 きささき彼句吾
殺意ある選択赤のワンピース 須藤しんのすけ
いつせいに振り向く負け犬は誰だ 月波与生
鳥になる前に入歯を外します 田久保亜蘭

田久保亜蘭さんは鳥になるのですか。「人間になりたい鳥は前列へ」という田口文世さんの句とは反対ですね。あ、関係ないか…。亜蘭さん、やっぱり「入れ歯を外し

ゴーン氏に似てる 電線のカラスよ

城後朱美

生家跡はヤマダ電器東室蘭店

木村美映

でこボンの生真面目そうなきしみしそうな

ひとり静

あんなにも笑ったご縁だったのに

斎藤泰子

私とはなんだなんだと切り分ける

高橋星湖

今夜又前頭葉が眠らない

村上あつこ

ご無沙汰をしますひとり咲いています

まきこ

ラジオから明けの明星見えてくる

夏草ふぶき

夏草ふぶきさんは「ラジオ」が好きなのですか。「ラジオ」って、眼が疲れないからいいですよね（笑）「明

てから「鳥になる」ことをお奨めします。飛んでる途中に落とされた歯が誰かの頭をガブツとやったりすると大変ですよ。

C群

裸木に吊るす唐辛子な日常 土田雅子
駅前老人ふたり変人ひとり 一帆
新緑の候虚無僧が一人来る 小野五郎
鼻をかんでいるソクラテスの指で 奈良一艘
ものすごいオレンジ色で怒ってる 松谷早苗
右頬に縄目模様が付いているか 守田啓子

土田雅子さん、「唐辛子な日常」ってどんな日常ですか？「唐辛子」には、香辛料にするのもあるし、ピーマンと呼ばれて食用にされるのもあるし、観賞用もあるんだけど、この句の「唐辛子」はやっぱり香辛料の方でしょうか。とすれば、「唐辛子な日常」は刺激があつてヒリ

ヒリする日常ってことだ。で、雅子さんは、そんなヒリヒリの日常を葉が散って枝や幹がむき出しになった木に吊すんですか。葉のない木だから丸見えだね。でも、風に吹かれてやがてしんなりしてくる。そうしていつもの日常を取り戻す。違うかな。

一帆さん、この駅前にいる「老人ふたり変人ひとり」の中に一帆さんはいないよね。とすれば、一帆さんは老人と変人を見ている側の人。それでさ、駅前にいる人って、いわゆる一般の人で、ある意味世の中の縮図だよ。それが、一帆さんが見るところでは、3人に2人は老人で、あとの1人は変人ってこと。ついに、そんな世の中になっちゃったんだ…。

小野五郎さんは「虚無僧」じゃないですよ。 「虚無僧」は広辞苑に「普化(ふけ)宗の有髪の僧。深編笠をかぶり、絹布の小袖に丸ぐけの帯をしめ、首に袈裟をかけ、刀を

ティッシュ使いなよ。裸の指で漬かむって、いくら哲学者でもきたないよ。あれ？オレ何か変なこと言った？

松谷早苗さんは、怒るとき「オレンジ色」になるのですか…。しかも「ものすごい」がついた「オレンジ色」になるって、漫画「ドラゴンボール」の主人公孫悟空がスーパーサイヤ人になるときみたい…。(汗)「真っ赤になつて怒る」ってのは聞いたたり読んだりしたことがあるけど、これは初めてです。松谷さん、実は、すごくおだやかに怒ってたりしてね。

守田啓子さん、これは、月刊おかしょうきの読者に対する問いかけですね。そうですね、あなたの右頬にはあなたには決して見えないかたちでくつきりと縄目の模様がついています。それは、やがて全身に広がります。縄文人の子孫だという証拠です。前世の祟りだなんて思わな

いで胸を張って生きてください。

帯し、尺八を吹き、銭を乞うて諸国を行脚した」とあるけど、五郎さんは曹洞宗だもの。「虚無僧」のことは映画やドラマの世界でしか知りません。そんな珍しい存在の虚無僧が一人、晩春あるいは初夏に五郎さんのところへやって来るのですか。何をしにお出でになられるのでしょうか。友達でしょうか…。突然ですが、虚無僧に新緑って似合いますね。

奈良一艘さん、いつから「ソクラテス」やってんの？その「ソクラテス」って、野坂昭如が歌っていた「ソ・ソ・ソクラテス」と関係ある？あの歌の作詞者が、毎日新聞の仲畑流万能川柳の仲畑貴志だつて知ってた？あ！関係ないね。一艘さんはいつから哲学やってんだろ、すごいな。で、哲学者奈良一艘も人間だから漬をたれることがあって、そうすればなんぼエライ哲学者でも漬をかまないわけにはいかないってことだよ。で、で、漬をかむ指は「ソクラテスの指」なのか…。あの…、一艘さん、

『アウガ川柳教室』のお知らせ

【場所】青森駅前「アウガ」5階

【日時】毎月2回 第2・4火曜日13時～14時半

【講師】おかしょうき川柳社 代表 むさし

【受講料】1回 500円

□ 6/11(火)「昔」 □ 6/25(火)「レストラン」 □ 7/9(火)「指」

□ 7/23(火)「酒」 □ 8/13(火)「 」 □ 8/27(火)「魚」 □ 9/10(火)「九月」

●投句先：〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-3

むさし宛 / TEL.0174-27-2008 / E-mail: hmusashi@r66.7-dj.com

深艘心理

Pチケット上げる穴という穴の

きさらぎ彼句吾

(おかしょうき4月号より)

穴という穴って…？

まず一番先に思い浮かべるのは作者が女性であるという事実。それも東北文学賞まで受賞された才媛であり全国にAKB並みのおじさんファンがいると言われるほどの美女。

となれば、ムフフ…とあらぬ方向へと思いを馳せるのはお下品で卑猥であるとお叱りを受けるのは間違いない。もっとお上品な穴というものを深読みせねばなるまい。

で、その穴を深読みする前に「Pチケット」である。ネットで検索すると①プレリザーブチケット（チケットの一般販売に先駆けて受付期間内に申し込み、抽選でチケットを購入するサービス）、②ピクチャーチケット（チケットにアーティストの写真やロゴなどがデザインされているチケット）、③プラチナチケット（手に入り

くいスポーツやコンサートのチケット）、④プライベートチケット（作成した本人しか見れないプライベートチケット機能）

うーむ、なかなか難しい。が、まてよ…穴がもし、作者が失ったかけがえのない物や人、あるいはその哀しみの暗喩としたならば、Pチケットはどれでもあてはまることになる。

つまり、作者が抱える哀しみの原因を作った物や人？多分人だ。それも今は亡き最愛の人に、ぜひ蘇ってその哀しみの穴を埋めて欲しいと訴えている句ではないのだろうか？

冥府から戻れる特別なチケットを添えて…ね。

よし、これで解決なのだ。ふむ。

おかしょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅5月月間賞

月光を逃れてルビをはずし合う

きさらぎ彼句吾

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

告白の羅列笑っていいですか
わがままをだあれも叱ってはくれぬ
桜吹雪へ前髪カールしています
紫陽花へ雨降るように話すから
繰り返すミスは豆苗貝割れ菜

先月号のお気に入り
前列がなんだ雪ダルマは走る むさし
ルールは私が作るのです と言ってみよう

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

コロナと意思があるのかイチゴたち
ぎゅつとハグすると涙の出る仕組み
闇という巨大ハンモックで揺れる
サクラサクラ蹠はまだ新鮮か
シルバーシート二本のピンでグサツとさされる

先月号のお気に入り
風止んで闘争心が萎えてくる 辻井洋子
たしかに そんなところあります。

一 帆【いちほ・秋田県秋田市】

駅前に老人ふたり変人ひとり
困ったさんと道づれバスの旅
振り向いたスーパーマンのひとり言
狂気とは街に溢れる正義感
六十二才浪花節的レモン汁

先月号のお気に入り
あのとぎの雲をあの日のシャツで見る 月波与生
あのとぎを思い出すのは少し幸せ

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

白状をするわ幾らかエイリアン
花筏所在不明になりたきや
木屋町の壺焼き挽歌拾い読み
転居先問えばふるふる若緑
のびのびと頭どついて欲しかった

先月号のお気に入り
日めくりの未来はかしこまっている 斎藤泰子
私の検査日かしら。

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

待つ夢は眠ったままの水たまり
存在はただ黒いだけ壁のシミ
許す気になつて発酵しだすパン
煮ごりの目玉になつてから平和
その辺の話は塀を越えてから

先月号のお気に入り
もう少し謙虚にもう少しバナナに 守田啓子
バナナみたいな存在。懂れます。心がけた言葉です。

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

人間を焼いて増やす大気汚染
日本の過疎地へ招くアーミッシュ
AIにおまかせをする尊厳死
熊の胃で鳴っているわたしのスマホ
ハムレットオムレットもある花見

先月号のお気に入り
東京から1万9千円の距離 吉田吹喜
新幹線ですよ。理屈抜きに高すぎます。中国の新幹線の安さにびっくり、大陸の値段というか庶民の足ですから。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

雄鳥をためこんでいる五月闇
眠れぬ夜ニセアカシアを聞いている
キツネ色になるまで炒める菠薐草
元栓は大丈夫か匂いぞいずる
新緑の候虚無僧が一人来る

先月号のお気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

誰かと話して自分を膨らます
全てオフにして濃密な無言
見えない傷があまりに熱い桜闇
野花に立ち止まるひとに 立ち止まる
言葉を待つて心を待つて照る曇る

先月号のお気に入り
草だった人の綺麗な踏まれ方 米山明日歌
こんなひとに懂れます

木村美映

【きむらびえい・青森県青森市】

生家跡はヤマダ電器東室蘭店
二分谷アイヌ八分の一の毛深さか
アイヌにも禿がいるのは内緒だよ
珈琲は「夢の追想」と決めてます
「なまら」「しょ」を混ぜるけれど津軽衆

先月号の
お気に入り

てにをはをはぐらかされてから泡 きさらぎ彼句吾
とにかくも「てにをは」にはぐらかされる世界です。

熊谷冬鼓

【くまがいつこう・青森県青森市】

転居先不明で戻る委任状
危なげに見えてドッコイ鎌の月
期待には応えてくれぬ発芽率
私なら大丈夫って濃紫陽花
古稀なのでそんじよそこらに言い負ける

先月号の
お気に入り

「はい」と答えて風向きをぐいと押す 斎藤泰子
そうそう、もう一押しぐいぐい！

斎藤泰子

【さいとうたいこ・秋田県大館市】

まつすぐな気持ちでいることの疲れ
まん中を歩き神様に叱られる
錯乱が始まる薄暗い時間
あんなにも笑ったご縁だったのに
出番ならとうに終わった舞台裏

先月号の
お気に入り

いつも通りでいようあなたが乾くまで きさらぎ彼句吾
いつもと同じように接してもらえるのが一番の癒しにな
ります・・・ハイ だいぶ乾きました。

笹田隆志

【ささだたかし・青森県青森市】

二人になれば決まって落ちるマンホール
どうしてもひとり余った宇宙船
満月をハッシュタグする自衛隊
発熱したメルギブソンのトランクス
メガライアンの海を見たくてロスへ行く

先月号の
お気に入り

ゴーギャンの絵の中に行く今夜の便 辻井洋子
僕は今朝の便でピカソの青の中へ行きます。

鳶清五郎

【しませいごろう・滋賀県米原市】

返したら自動運転売り出され
槍穂高今日も見えたよ富士の山
バカヤロウ祖父さん怒り恥を知れ
誕生日零れ落ちそう歳の数
拉致十八番叔父兄平気消しました

先月号の
お気に入り

城後朱美

【じょうごあけみ・福岡県八女市】

十五歳の春は やつぱり人任せ
ゴーン氏に似てる 電線のカラスよ
裏切り者になってしまった芝桜
大人への一步 コインに裏がない
六十三歳 空気など読まぬ

先月号の
お気に入り

宇宙から降り立ったらしいね なんか 吉田吹喜
わくわくしますね。私にも会いにきてほしいな、早く

須藤しんのすけ

【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

自販機の青を叩いて夏がくる
病室の真ん中ブランコを吊るす
靴紐をほどいた天気図の行方
殺意ある選択赤のワンピース
ランドルト環から覗く旭日旗

先月号の
お気に入り

静寂の中で見つけた同じ耳 一帆
静寂と耳の取り合わせが面白いですね。色んな物が詰まっ
てそう。

高橋星湖

【たかはしせいこ・青森県むつ市】

思い出し笑いと涙卒業歌
折紙のツルはきつちり折りましょう
私とはなんだなんだと切り分ける
花シールべたべた貼ったから春だ
夕焼の涙の理由も花粉症

先月号の
お気に入り

田久保亜蘭

【たくぼあらん・秋田県五城目町】

厳選をされて今日が消えてゆく
月光を味方につけたテロリスト
胸鱈の振動君を感じたの
それ赤い種から生まれたんじゃない
鳥になる前に入歯を外します

先月号の
お気に入り

月波与生

【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

生卵食う要介護2の父と
褥瘡をりようじよくと読む母のこと
何故生きる毎晩怖い夢をみて
逆夢正夢死刑囚が死んだ夢
いつせいに振り向く負け犬は誰だ

先月号の
お気に入り

土田雅子

【つちだまさこ・青森県青森市】

裸木に吊るす唐辛子な日常
豚に真珠 猪に胡蝶蘭
耐え難きを耐え爪は捲かれて来るのです
午前二時みつをの黒が責めて来る
二人の間にまだまだ雪は降るだろう

先月号の
お気に入り

夏草ふぶぎ

【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

白タクの報酬 月の三分咲き
停電が続く新興住宅地
ラジオから明けの明星見えてくる
乾杯が下手で友達いなくなる
満開の桜が言つたさようなら

先月号の
お気に入り

今日からは誰のものでもない私 城後朱美
自由だー！

奈良一艘

【ならいつそう・青森県弘前市】

生きている東京ドーム五杯分
エレジーを紡ぐ乳首がむずがゆい
生かされているヂイさんの放屁音
家が正しいか巢が正しいか…だ
鼻をかんでいるソクラテスの指で

先月号の
お気に入り

背開きの鯨を見習ってほしいわ ひとり静
はい、深く今後はそう致します！

鳴海賢治

【なるみけんじ・青森県つがる市】

お財布はどこへいったかけものみち
大きくなり過ぎました下駄の鼻緒
粗末なものです桜に上げます
必需品となりましたカボチャの種
カオス理論そのあと誤嚥はじまった

先月号の
お気に入り

カラメルの甘さ苦手なフライパン 夏草ふぶぎ
相剋がよかったです。

ひとり静

【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

でこポンの生真面目そうなきみしそうな
春キャベツ気軽な好きにある力
空席のままいちちが終わったわ
満月になんの行列向こう岸
桜散る地球の途中ポの途中

先月号の
お気に入り

二酸化炭素かもしれないあなたし 吉田吹喜
もしかして人間がお嫌いですが？

ひらく

【ひらく・青森県蓬田村】

真夜中のカフェインレスのコーヒー
あの山も今日の空色に染まつてる
今年の梅今年の若葉今年の香
梅の香の信号待ちのメロディー
自立した子自立出来ない藪椿

先月号の
お気に入り

まきこ【まきこ・青森県青森市】

底なしの沼でわいわい空騒ぎ
むかつく奴から届く ピンクのレター
着ぶくれは終わる素のまま打つ木魚
ご無沙汰をしますひとり咲いてます
満ち足りた顔でお互い探り合う

先月号のお気に入り

統計調査で来ましたサルノコシカケ 鳴海賢治
家にも来ます。笑いすぎて、気持ちが明るくなりました。

松谷早苗【まったにきなえ・石川県金沢市】

せつぷんのふんは怒つてなどいない
シュガースポットばななとつくに飢えている
ものすごいオレンジ色で怒ってる
いい意味で悪魔のような人ですね
ほつさてきハグにてんきあめがふる

先月号のお気に入り

青い空食べてピンクになりました 夏井せいじ
食べ過ぎしそつです・・・

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

いつまでも冷たいままの「椅子」長女
形状は人間問題はそこじゃない
六月十九日墓前に子規の爪の垢
「雪の橋」旧字旧仮名勉強張
句想まだ真冬しつかりしろわたし

先月号のお気に入り

その日まで雪に嫁いだことにする 吉田州花
女の一生を突き詰めるところなんです。畏れ入りま
した。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

8年目止まったままの腕時計
交差点で見かけたような父の影
今夜又前頭葉が眠らない
三日月に内緒の話してみよう
父と子の二人三脚母を待つ

先月号のお気に入り

豚丼に春をこっそり振りかける むさし
豚丼が牛丼に変わるのかな

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

時差だらう桜さくらのとおり雨
歓迎の風は少しのずれがある
笑いすぎシャッターチャンスとりこぼす
ごほうびにいただいたのは花粉症
ふるさとに腰を下ろしたつけまつ毛

先月号のお気に入り

幸せだった場所を時々見に戻る 斎藤泰子
ある意味、勇気のいることかもしれません。

向山タエ子【むこうやまたえこ・青森県青森市】

嘘と法螺のピリ辛井はいかゞですか。
部屋の中で喜怒哀楽がはしやぎすぎる
物干し場でウソを乾かす詐欺グループ
新元号にジャンプだうまく跳べるかかな
靴下を被せたような謝罪だね

先月号のお気に入り

真冬日に男の取り説買いに行く 夏草ふぶき
最近、妻の取り説という本があることを知りました。夫
の取り説があったら買いたるところですけどー。

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

民俗学的にはオシラさまの深呼吸
溜息から繭が生まれる物語
まだともうをゆらゆらしてるおぼろ月
右頬に縄目模様が付いてるか
輪廻転生食物連鎖毒親連鎖

先月号のお気に入り

負けそうな人は春待ち課へどうぞ ひとり静
行ってきました。見通しが明るくなりました。

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

もういいかい 秘すれば花と言ってみる
骨董になってしまった黒電話
石蹴り陣取りそつと昭和を呼んでみる
馬鈴薯の花にもあるさ歌心
まあだだよ 老木に咲く花を追う

先月号のお気に入り

先月号のお気に入り

おかじょうき川柳社 5月例会

光合成 止めて

5月4日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(17名)

木村美映・熊谷冬鼓・渡邊こあき・坂本清乃・葉閑女・奈良一艘・きさらぎ彼句吾・小野五郎・夏草ふぶき・土田雅子・むさし・柳谷たかお・野沢省悟・笹田隆志・三浦蒼鬼・ひとは・須藤しんのすけ

▼投句者(11名)

米山明日歌・岩根彰子・吉田吹喜・村上あつこ・石橋芳山・鳴海賢治・城後朱美・まぎこ・守田啓子・田久保亜蘭・まみどり

むさし【むさし・青森県蓬田村】

令和元年散華ひらひら津田梅子
ルパンが死んだ@平成・Com
ジョンウンの投げ輪だ熊が噛みつくぞ
つけ麺のスープに浮かぶカテドラ
コップの底のF35Aという微熱

「無人駅」は会員の自由な発表の場です。
新作5句をお送りください。
また、お手元の最新号からお気に入りの句と
簡単なコメントもお寄せください。



【「ムーさんの独り言」最新話】

『志賀潔と「風貌」の巻』を
ネットに掲載中!



席題『信』

青森県青森市

木村美映選

【佳作】

ラムネプシユ性善説は信じない

熊谷冬鼓

カカオ度を上げて信用度を下げる

渡邊こあき

もらい泣き新手の詐欺かも知れないぞ

熊谷冬鼓

戒名に入りたい文字が多過ぎる

須藤しんのすけ

ガードルを穿いているなら信じよう

奈良一艘

泡だてた嘘が飛び散るそこかしこ

渡邊こあき

信じれば途端に爪が脆くなる

ひとは

背もたれが欲しくて月を手放せぬ

土田雅子

着信音夢の中まで支配する

ひとは

信用できる人が斜めにひとりいる

三浦蒼鬼

死亡予告発信してるハッシュタグ

笹田隆志

青信号羽田空港封鎖中

笹田隆志

着信を待つ母発信を止める僕

笹田隆志

しじみ・牡蠣・ウコンの力・大吟醸

奈良一艘

満月に映す詐欺師の独り言

須藤しんのすけ

【秀逸】

験担ぎ口紅の色決まらない

ひとは

ヌーブラのベビースターを信じるか

奈良一艘

大聖堂炎上 海を見ている信号機

むさし

【特選】

信長の舌が令和の空を焼く

むさし

*「光秀は生きのびた」説を信じています。

席題『信』

青森県青森市

熊谷冬鼓選

【佳作】

青信号羽田空港封鎖中

笹田隆志

一本の腕の重さを抱いて寝る

土田雅子

返信をしたくないのだ柳の木

夏草ふぶき

鳥賊の耳だけを信じた日があつた

野沢省悟

信じれば途端に爪が脆くなる

ひとは

着信を待つ母発信を止める僕

笹田隆志

真心が通じ合うまで水を遣る

きさらぎ彼句吾

銀行の地下水脈を信じます

小野五郎

返信に桜吹雪を添付する

むさし

信じてても信じなくても散る桜

三浦蒼鬼

満月に映す詐欺師の独り言

須藤しんのすけ

死亡予告発信してるハッシュタグ

笹田隆志

指きりのぬくもり握りしめ かかし

きさらぎ彼句吾

逆転を信じて靴を磨いてる

葉 閑女

神様を写すピントを甘くして

きさらぎ彼句吾

【秀逸】

嘘発見機だったか君もわたくしも

野沢省悟

人間を信じていない不燃ゴミ

三浦蒼鬼

背もたれが欲しくて月を手放せぬ

土田雅子

【特選】

大聖堂炎上 海を見ている信号機

むさし

* 信号機も人も果然としている絵を見えました。

宿題『有』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

訳有りで今も女に戻れない
 へなちよこの助っ人なんていらぬわ
 満月は有無も言わせず昇り出す
 ぼんやりとアタフタどっちも隠し味
 愛情の有無を女は聞きたがる
 裸婦を描く有刺鉄線より辛く
 無くなつてきたよ海馬のとつかかり
 水掻きがときどき痒くなるのです
 アルバムに檸檬のエグ味なところ
 はきなれた靴にドッキリ潮溜まり
 剪定をされてしまつて指五本
 おでん屋の鍋に貼つてた蒙古斑
 花筏こんな形で生かされる
 母さんのお腹にあつた秘密基地

石橋芳山
 渡邊こあき
 柳谷たかお
 熊谷冬鼓
 城後朱美
 野沢省悟
 土田雅子
 野沢省悟
 奈良一艘
 坂本清乃
 野沢省悟
 奈良一艘
 守田啓子
 ひとは

空席があります鬼界行き
 のお相手は有刺鉄線下げてきた
 夕陽と残されしおれる壁の花
 第二巻飛びたつ有間の皇子の首
 返信の来ないスマホを持ち歩く
 織る羽がなくなりました鶴一羽

【五客】

枯れ木でもヒロインでいる有りだよ
 有刺鉄線そうかおまえも寂しいか
 配偶者有りから無しになる夜明け
 私有地の中に人型穴を掘る
 有るはずの家が時々居なくなる

【人位】

ありふれた朝を訃報がノックする

【地位】

蟻んこゾロゾロ みんな死ぬんだね

【天位】

有志だけモザイクの中はいれます

*へえ、モザイクつてそだったのか…。

奈良一艘
 田久保亜蘭
 きさらぎ彼句吾
 小野五郎
 須藤しのすけ
 渡邊こあき

夏草ふぶき
 三浦蒼鬼
 城後朱美
 まきこ
 夏草ふぶき

葉 閑女

きさらぎ彼句吾

米山明日歌

宿題『コピー』

青森県弘前市 きさらぎ彼句吾選

【佳作】

白黒はやめてよわたくしのコピー
 三枚複写おうちがだんだん遠くなる
 心電図と同じ人生歩んでる
 見分け方。鼻先の赤いボタンです
 私のコピー何枚ありますか
 あの人の両面コピーありますか
 取り合えずキャッチコピーは「安楽死」
 人間をこぴーしている小籠包
 どのチャンネルも令和令和令和…
 太陽に一万円を転写する
 わたくしのコピーを取れば真つ黒け
 コピーされ切り取られ張り付けの刑
 複製のノートルダムが立ちあがる
 コピペして少しやつれた薔薇を描く

まみどり
 葉 閑女
 夏草ふぶき
 木村美映
 小野五郎
 三浦蒼鬼
 ひとは
 奈良一艘
 吉田吹喜
 笹田隆志
 ひとは
 土田雅子
 小野五郎
 奈良一艘

コピーした妻を10体捨てました
 前ならえみんなクローンかもしれぬ
 コピーでした三途の川を渡つたのは
 晴れの日を盆栽にしてとつておく
 両面コピーしてみる今日の腹黒さ
 偽札で膨らんでいる太っ腹

【五客】

舐めてみてコピーだったと気がついた
 また夜をコピーしている舌下錠
 俺をどうコピーしたってカキの種
 コピー機のピーは一回遠慮がち
 キャッチコピー辿つて生きてきたのだが

【人位】

カーボン紙挟んだページから春に

【地位】

ゲルニカの余白へコピーする廃炉

【天位】

コピペする私の間に菜の花を

* 闇にも希望が欲しいものネ。

田久保亜蘭
 まきこ
 守田啓子
 渡邊こあき
 石橋芳山
 夏草ふぶき

まみどり
 奈良一艘
 石橋芳山
 吉田吹喜
 三浦蒼鬼
 三浦蒼鬼

三浦蒼鬼

むさし

米山明日歌

宿題『自由詠』

青森県弘前市 奈良一艘選

【佳作】

令和元年フクシマに流れ着く桃
許してあげる雨垂れの嘘だもの
労働力不足お寺の鐘が鳴る
バンクシーの鼠手配中だった
繰り言はここまでクイツと生ビール
長い長い小川で深い深い春眠
輪唱のひとり二人と減って春
右膝は燕返しにされている
「ひよつとして」「もしも」があつて生きられる
洗濯機檸檬めく声聖五月
味方にも武器にもなれるマヨネーズ
生と死の襲へと落ちてゆく絵本
口腔ケアしなさい 空は晴れなさい
三百六十度花にして 暮れる

小野五郎
土田雅子
鳴海賢治
田久保重蘭
まきこ
守田啓子
熊谷冬鼓
小野五郎
三浦蒼鬼
岩根彰子
まみどり
守田啓子
守田啓子
土田雅子

名案はないから泣いてみることに
日本がアルカリ性に変わるまで
穿った見方です喝采をどうぞ
ライオンの股間に闇がついている
三月月に腰掛けている発情期
まどろみか死後硬直かわからない

【五客】
爆発注意介護する人される人
問診票の前後左右のはなふぶき
エラ呼吸試すか土砂降りなんだし
妄想型統合失調症の猿
後れ毛の絡まるメール Re・Re・Re・Re・Re・Re・

【人位】
銃撃を見てきたように咲くさくら
むさし

【地位】
狂わずにいつも散るんだから狂う
きさらぎ彼句吾

【天位】
光合成止めて童貞を捨てる
石橋芳山

* 光合成と童貞の妙には参りました。

順位	氏名	打率
1	むさし	0.667
2	奈良一艘	0.630
3	まきこ	0.538
3	夏草ふぶき	0.538
5	守田啓子	0.515
6	田久保重蘭	0.511
7	石橋芳山	0.481
8	月波与生	0.472
9	土田雅子	0.452
9	きさらぎ彼句吾	0.452
11	須藤しんのすけ	0.444
12	米山明日歌	0.422
13	吉田吹喜	0.389
14	熊谷冬鼓	0.385
14	小野五郎	0.385
16	まみどり	0.378
17	渡邊こあき	0.333
18	岩根彰子	0.311
19	葉閑女	0.310
20	柳谷たかお	0.296
21	鳴海賢治	0.267
21	城後朱美	0.267
23	笹田隆志	0.262
24	北野岸柳	0.250
25	木村美映	0.242
26	村上あつこ	0.200

順位	氏名	本数
1	むさし	6
2	夏草ふぶき	5
2	土田雅子	5
4	米山明日歌	4
4	きさらぎ彼句吾	4
6	まきこ	2
6	吉田吹喜	2
6	月波与生	2
6	石橋芳山	2

順位	氏名	打点
1	むさし	39
2	夏草ふぶき	34
3	きさらぎ彼句吾	32
4	米山明日歌	31
5	土田雅子	30
6	まきこ	29
7	須藤しんのすけ	28
7	田久保重蘭	28
9	月波与生	27
10	守田啓子	23
10	奈良一艘	23
12	熊谷冬鼓	21
13	吉田吹喜	20
13	まみどり	20
15	石橋芳山	19
16	岩根彰子	18
16	小野五郎	18
18	城後朱美	16
18	葉閑女	16
20	鳴海賢治	14
21	笹田隆志	13
22	木村美映	11
22	渡邊こあき	11
22	三浦蒼鬼	11
25	北野岸柳	10
26	村上あつこ	9
26	柳谷たかお	9
28	坂本清乃	7
28	野沢省悟	7
30	森雄岳	4
31	ひとは	3

おかしょうき 二冠王への道

【二冠王への道】本社句会宿題詠で、打率（抜句率）・打点（総得点）・本塁打（3点句の数）を競うもの。

神奈川県に住むいところから電話が入った。横浜でひとり暮らしをしている伯母が低栄養状態で倒れて入院し、点滴治療を経て間もなく退院するという内容だった。

伯母は88歳になる私の母のすぐ上の姉である。男3人、女4人の7人兄弟だったが、今や存命なのは2人きりとなっていた。

もともと東京に50年あまり住んでいた伯母を私はずっと東京のおばちゃんと呼んでいた。東京のおばちゃんは20代に青森から単身上京。会社勤めをし、定年後も社長から引き止められ、65歳過ぎまで勤め上げた。今でこそ世の中70歳定年が話題となっているが、四半世紀前は珍しいことだったと思う。独身を貫き、仕事一筋だった伯母のひたむきさが何われる。

この10数年は手紙のやり取りだけになっていったが、腰は曲がりながらも、横浜から東京駅まで電車に乗って、友人とランチしていると聞いていたので、まだまだ元気で、母にも励みになっていたと思う。

一週間点滴を施した伯母は、以後点滴治療を望む。3日ほど滞在し、眠っている伯母の耳元にこっそりさよならを告げ、玄関まで行って振り返ると、ベッドから一生懸命身体を起こして手を振っている姿がそこにあった。生きている伯母の最期の姿は未だ、目に焼き付いたままである。

結構なお手前でした伯母が逝く 雅子

東京のおばちゃんが亡くなって暫くして『実の親でもなかなか在宅の看取りなんて出来なよねえ、感心だよねえ、私はできないわ』といとこの事を褒めると、母は涼しい顔をして言うのだった。

『大丈夫だよあんたならできるよ』

私は心の中で叫んだ。

『東京のおばちゃんみたいに最後までトイレ自分でしてくれたらね』と。

「東京のおばちゃん」

まなかつた。自宅に戻っての在宅の看取りを希望したのである。点滴をしばらくすれば、また体調を回復し、その後流動食など介護食に移行していく方も随分おられる。実際、私の身近でも何人も見てきている。が、伯母は断固として退院を決心したのである。

点滴を断ちて退院冬の月 順子（母作）

そうして、東京のおばちゃんの姉の娘であるところが在宅の看取りを覚悟したうえで電話をくれたのである。

その後の東京のおばちゃんは実にあっばれであった。長年の友人たちが顔を見たい、見舞に行きたいと電話をよこしても、『私はそろそろ逝くから、あなたは生きてね。さようなら。』と最期のお別れを淡々と進めていったのである。

いところから電話を貰って間もなく、母を連れて上京した。伯母はトイレ以外は殆んど寝ている状態となっていたが、私たち親子をちゃんと認識して、欲しいものがあつたらなんでも持つて行って

リレーエッセイ 途中下車 乗客98. 土田 雅子

―参加者募集―

「川柳吟行会 ぽ」

小野五郎

4月17日の吟行は青森県立郷土館で行われた。水曜の昼過ぎとあつてか我々の他に入館者は2、3人ほど。新収蔵品を見られる特別展は未だ開かれていない。解説員に案内されて常設展示を見てまわる。二階の考古展示では石器時代から弥生時代までの遺跡から出土した石器、土器の量に圧倒される。解説員の説明を聞きながら狩猟文土器や子供の手形足形を押しした護符のような土製品、水田に残っていた弥生人の足跡を見る。遮光器土偶の実物大複製を持ち上げてみると意外と軽い。

自然展示では青森市内に落ちた隕石、古代の鯨の巨大な背骨化石などが目を引く。歴史展示をざっと見て三階

の民族展示へ。ここには農林漁業の道具、暮しの道具、商いの道具があふれている。オシラ様を間近で見るのは初めてである。中身は誰が作るのだろうか。このあたりで切り上げてアウガに移動し、2時30分から作句、一人4句提出する。選は特選を1句、佳作を2句とし、合評に入る。

新婚の三日目までが特別展 滋野さち

作者の経験から出てきた句だろう。おもしろいと高い評価。7点(特2・佳3)

レプリカのまんまで春を歩き過ぎる 熊谷冬鼓

自らの生き方を振り返りさらりと表現したのが良い。
5点(特1・佳3)

手形足形確かにあったのだ祈り 熊谷冬鼓

縄文人の願いや家族愛を想像させる。今の子育てをもちえさせる句。4点(特2)

三千年の足形令和へと続く 渡邊こあき

古代から受けついできた歴史を大切にしたいという思いを感じると4点(特2)

選挙カー遮光器土偶の目が光る 渡邊こあき

着想がユニークでおもしろい。3点(特1・佳1)

縄文のきずあと残る右の耳 笹田隆志

いろいろな角度から読むことができる句になっている。2点(佳2)

郷土館はトレジャーワールドだった。観覧おすすめです。

「川柳吟行会 ぽ」 7月吟行

【日時】

7月17日(第3水曜) 午後1時～

【吟行場所】

中央埠頭(青森市本町3丁目・柳町通り海手)

【集合場所】

中央埠頭内の東屋

【句会時間】

吟行後2時半～アウガ5階で

【参加費】

100円

十和田たてがみ川柳会 4月句会

【一時】平成31年4月20日(土)

【一所】十和田労働福祉会館

【出席者】漆館ミノリ・久保あざみ・木村奈生美・

斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・福田芳詔・

村上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・城後朱美

■席題 『太陽』

久保あざみ 選

【平抜き】

太陽もはずかしいのか月のかけ
太陽が沈めば僕の出番です
御日様に背かぬようにと故母の言
太陽をまねた水爆悪の悪
太陽の季節に生まれ星になる
太陽に恋する春がやつと来た
太陽を浴びて大地が動きだす
太陽に汗して過ごし共白髪
しがらみの昨日落として居る朝日

福田 芳詔
佐藤まさあき
斉藤 蛙井
福田 芳詔
高田 幸柳
高田 幸柳
佐藤まさあき
高田 幸柳
木村奈生美

瀧尻 善英 選

【平抜き】

太陽がじつと見ている人の業
今はタマ君は私の太陽だ
太陽に恋する春がやつと来た
しがらみの昨日落として居る朝日
天気図は太陽いっぱい幸あれと
太陽の季節に生まれ星になる
家庭には太陽のよう母ありて
太陽の眩しき受けて生きている
太陽が沈めば僕の出番です
太陽に汗して過ごし共白髪

斉藤 蛙井
村上 昌子
高田 幸柳
木村奈生美
漆館ミノリ
高田 幸柳
漆館ミノリ
木村奈生美
佐藤まさあき
高田 幸柳

御日様に背かぬようにと故母の言

【秀逸】

日だまりで愛犬眠るいい日です
太陽と走る部活の玉の汗

【特選】
太陽を浴びて大地が動きだす

斉藤 蛙井
久保あざみ
木村奈生美
佐藤まさあき

■宿題 『たぶん』

高田 幸柳 選

【平抜き】

アベノミクスたぶんいやもう終わりでしょ
裏切りはたぶんないかと値踏みする
キャッシュレスたぶんスマホを持ってという
ポケットに入れたと思う春の夢
村度が癒着のムード醸し出し
常連がたぶん来ている縄のれん
母さんのたぶんはきつと当たらない
令和熱たぶん便乗詐欺もいる
婚活へアナタに惚れる人もいる
公約の嘘におそらくまたコロリ
【秀逸】
ほっとけばいざれ仲良くなるふたり
犯人のあてが外れるサスペンス

福田 芳詔
斉藤 蛙井
磯島 雅男
木村奈生美
村上 昌子
佐藤まさあき
城後 朱美
磯島 雅男
瀧尻 善英
村上 昌子
瀧尻 善英
城後 朱美

天気図は太陽いっぱい幸あれと
おひさまを味方にすればうまくいく
太陽がじつと見ている人の業
太陽は平等だから大好きだ

【秀逸】

今はタマ君は私の太陽だ

言われたなあお天道様が見ているよ

【特選】

太陽と土と語らい鉄と生き

漆館ミノリ
瀧尻 善英
斉藤 蛙井
漆館ミノリ
村上 昌子
福田 芳詔
瀧尻 善英

■席題 『太陽』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

太陽がじつと見ている人の業
今はタマ君は私の太陽だ
太陽に恋する春がやつと来た
しがらみの昨日落として居る朝日
天気図は太陽いっぱい幸あれと
太陽の季節に生まれ星になる
家庭には太陽のよう母ありて
太陽の眩しき受けて生きている
太陽が沈めば僕の出番です
太陽に汗して過ごし共白髪

斉藤 蛙井
村上 昌子
高田 幸柳
木村奈生美
漆館ミノリ
高田 幸柳
漆館ミノリ
木村奈生美
佐藤まさあき
高田 幸柳

【特選】

まごころで向かえばきつと動かせる

■宿題 『滝』

木村奈生美 選

【平抜き】

魂を滝のしぶきが浄化する
流されて滝が迫って目が覚める
滝つばに沈めておいた過去の罪
清濁の飛沫を立てて吠える滝
奥入瀬に彩り添える滝十五
滝壺に愚痴をこぼして空を見る
鬱憤を晴らした後の滝しぶき
けいこ中力士の背中滝の汗
あと二回滝に打たれてヒトになる
若い日の角が削れて滝の石
滝壺へ落ちる 答えが待っている
【秀逸】
ストレスは早く捨てよと滝落ちる
奥入瀬の滝それぞれに個性あり
【特選】
ゾクゾクと背なへ悪寒の滝登り

瀧尻 善英
城後 朱美
高田 幸柳
瀧尻 善英
福田 芳詔
久保あざみ
高田 幸柳
福田 芳詔
高田 幸柳
村上 昌子
瀧尻 善英
斉藤 蛙井
佐藤まさあき
磯島 雅男

□ 2019.06.30 第 61 回「不浪人賞」 第 49 回「年度賞」候補句募集

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、また連盟日より（結果）の個人送付希望者は、その旨を明記のうえ百円切手を同封ください（不浪人賞・年度賞一位に呈賞）【大賞作品】平成 30 年 1 月～12 月に発表された作品「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可（2 賞への同一句の応募は不可）【応募用紙】所定用紙または A4 の用紙を使用し楷書で不浪人賞（3 句）と年度賞（5 句）を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を（集計上の為）記入ください【締切】平成 31 年 6 月 30 日（当日消印有効・平成は新年号に変わります）【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島雉子森 33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞係」宛【選者】★不浪人賞（6 名）渡辺梢（埼玉）・赤松ますみ（大阪）・鎌田京子（宮城）・新家完司（鳥取）・島田駱舟（千葉）・野沢省悟（青森）★年度賞（10 名）長谷川酔月（秋田）・佐藤岳俊（岩手）・雫石隆子（宮城）・山口まもる（山形）・三浦哲夫（福島）・千鳥鉄男・むさし・工藤青夏・笹田かなえ・田鎖晴天【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 ☎080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟【協賛】青森県川柳社

□ 2019.07.21 川柳ゼミ「青い実の会」二十周年記念大会

【日時】平成 31 年 7 月 21 日（日）受付 11:30・席題発表 12:00 【会場】青森国際ホテル 2 階「春秋の間」青森市新町 1-6-18 017(722)4321 青森駅より徒歩 3 分【会費】¥4,500(懇親会・大会誌含む)【宿題】(各題 2 句詠・共選・字結び可)『天』福士慕情・むさし『静』沢田百合子・豊巻つくし『歩』太田久・千鳥鉄男【席題】(2 句詠・共選・字結び可)「 」岩崎真里子・高瀬霜石【特別選】(2 句)「扉」杉山昌善(川柳作家・脚本家)【大会事務局】030-0962 青森市佃 3-3-19 田沢恒坊 TEL・FAX:017-741-9215

□ 2019.09.23 第 1 回川柳忌黒石川柳大会

【日時】令和元年 9 月 23 日（祝・月）受付：午前 9 時 席題発表：午前 10 時 投句締切：午前 11 時【会場】グリーンパレス松安閣 黒石市乙徳兵衛町 34（駅から徒歩 5 分）電話 0172-52-3850【会費】4 千円（昼食・懇親会費・発表誌）【席題】(2 句詠)「 」千鳥鉄男・まきこ共選【宿題】(2 句詠)『チェンジ』高瀬霜石・山野茶花子共選『染』むさし・三浦清雪共選『伝』田沢恒坊・船水葉共選『光る』滝沢善英・沢田百合子共選【特別選】(折句 1 句詠)「 」野沢省悟・八木田幸子・成田我楽三人選 *選者一部交渉中【呈賞】宿・席題の合点 20 位まで及び特別選の第 3 位まで【主催】黒石川柳社【連絡・問い合わせ先】090 - 7933 - 6064 (三浦蒼鬼)

十和田たてがみ川柳会 6 月句会

【時】6 月 15 日（土）午前 10 時 00 分から【所】十和田労働福祉会館【宿題】(各題三句詠)『鶴』高田幸柳選／『壺』木村奈生美選【互選】(二句詠)『佃煮』当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入)【席題】一題(三句詠・共選)／選者は、滝尻善英ほか出席者から一名【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番町 2-21 十和田労働福祉会館 高田幸柳

- 宿題『大吉』
- ①今にしてあの時大吉掴んでた
 - ②運よりも体力欲しいお年頃
 - ①大吉と思ひ思わせ得た女房
 - ①おみくじは引かぬと決めて石になる
 - ①今年又車庫につばめが大吉か
 - ①大吉をひいてはみたがチャンス来ず
 - ②大吉も青空も好き努力の背
 - ②大吉へ無心論者も笑みこぼれ
 - ②努力した乗れた幸せ玉の輿
 - ③大吉が結んで呉れた赤い糸
 - ③大吉を引いた帰りの宝くじ

互選

齊藤	蛙井
村上	昌子
福田	芳詔
高田	幸柳
漆館	ミノリ
齊藤	蛙井
木村	奈生美
滝尻	善英
福田	芳詔
高田	幸柳



川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町 2-2-4 新町二丁目ビル 6 階
読賣新聞青森支局「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日／【賞】秀逸には図書カードを贈呈



川柳作品をお待ちしております。

■題「自由詠」Sin選

ハガキの表に「川柳」と明記し、ハガキ裏に作品（何句でも）、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記し、下記までお送り下さい。

【投句先】メール：tky.aomori@mbx.mainichi.co.jp「毎日新聞・川柳」係
ハガキ：〒030-0803 青森市安方 2-8-10
毎日新聞青森支局「毎日新聞・川柳」係まで

【掲載】毎週金曜日掲載

【賞】月間賞、年間賞には図書カードを贈呈

■会費拝受（4月受付分） ※太字は新会員

米山明日歌（静岡県） / **吉見恵子**（青森市） / 大内せつ子・吉松澄子（愛媛県）

■おかじょうき川柳社 会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 FAX.017-723-5696

終着駅 Sin

◆オリンピックのチケットの予約がスタートした。（現在は終了している）開始当日にアクセスが殺到し、サーバーがパンクするニュースが流れていたが、別に早い者順じゃないんだから、期間までに落ちていてやればいいのになんて思っている人が、最終日になってしまって、焦って駆け込み、またまたアクセス殺到。サイトもそれを受けて期間延長。ふー、なんだか平和すぎる（笑）とはいえ、たぶん、私の人生中に、もう二度と来ないだろうと思う日本開催のオリンピックである。参加することに意義があるというオリンピック精神のもと、私もチケットを予約してみたのである◆そこから、種目別の日程表とにらめっこしたのではあるが、出場選手も対戦も何もわからない状態でチケットを予約することが、こ

なに難しいことだとは思わなかった（汗）例えば、福島で行われる野球のチケット。日本が順調に勝ち上がったとしても、準決勝のチケットでも日本戦に当たるかどうかは $\frac{1}{2}$ である。決勝戦のチケットを買えばいいというが、日本が決勝進出出来なかった場合、こんなに盛り上がり欠ける決勝戦に数万円を投資しなければならぬリスクもあるのだ◆これは決められないと思ひ、娘のリクエストにすべてを賭けることにした。リクエストは「テニス」であったため、8月1日（土）、男子シングルス3位決定戦（錦織あるかも？）、女子シングルス3位決定戦、女子シングルス決勝戦（大坂なおみ、あるかも？）のチケットを予約した。6月20日の抽選が楽しみなだけで、オリンピック気分を味わえている（^o^）◆Sin



課題と選者（2句詠・共選）

題：『個』
選者：飯島章友（東京都）
Sin（青森県・おかじょうき川柳社）
7/31 〆切

投句方法

郵送・FAX・インターネットのいずれかからお選び下さい。

<投句先>

郵 送：〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 守田啓子宛

FAX：017-723-5696

ネット：http://www.okajoki.com/toku/0line.html

投句料

1,000円（発表誌呈）※おかじょうき川柳社会員は無料です。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

◆郵送先：〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 守田啓子宛

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

川柳ステーション 2019

第1部 ※すべて2句詠

席 題 「 」 2題2人共選を予定（参加者から選出）

特選に青森県産ホタテ! ※漁の状況により品目を変更する場合があります。

第2部

目の前の句をなぎ倒せ! 川柳ヨ回シアム

トーナメントによる川柳の1対1バトル!
ディベートタイムが勝敗のカギを握る!?
さあ、エントリーしよう!

上位入賞者に
県産ホタテを贈呈!

題「自由詠」

(一句詠・事前投句のみ・2019年6月30日(日)必着)

投句先: メール toko@okajoki.com または FAX.017-752-3759 (熊谷冬鼓宛)

※欠席投句拜辞 ※応募時には住所・氏名(柳号)を明記すること。 ※作品一覧はウェブ上で事前に発表します。

2019.7.6 (土) 13 時開会

場所: ラ・プラス青い森 (駐車場有) / 会費: 5,000 円 (句会・懇親会費)

「ラ・プラス青い森」宿泊 (¥6,200 [朝食付]) 希望の方はTEL.017-734-4371 まで

主催: おかじょうき川柳社

2019年6月10日発行(年12回発行) 第23巻第6号通巻304号
●発行人/むさし●編集/Sin●発行/おかじょうき川柳社●表紙題字/金子榮風
青森県東津軽郡外ヶ浜町宇蟹田中師宮本2の3 ●TEL&FAX:0174-22-2119 ●E-Mail:info@okajoki.com